

令和6年度「事業評価・改善会議」開催報告

令和7年3月26日（水）、当所4階401会議室において、経営発達支援計画の令和6年度「事業評価・改善会議」を開催しました。

1. 経営発達支援計画とは

- ・商工会議所が小規模事業者に対して行う、伴走型の事業計画策定・実施支援（経営分析・市場調査・事業計画策定・販路開拓等）を行うための事業計画を「経営発達支援計画」といい、経済産業大臣が認定・公表・支援する制度です。
- ・当所は、小規模事業者の「経営力の向上と販売促進への支援」を強力に推進し、地域経済の競争力強化と活性化を図るため、「経営発達支援計画」を策定。平成27年7月15日付で認定を受け、平成27年度～平成31年度の5年間にわたり、長岡地域の発展に向け取り組みました。
- ・その後、令和元年7月16日、「改正小規模事業者支援法」が施行され、経営発達支援計画は、これまでの商工会議所・商工会の単独申請から、関係市町村と共同で作成し申請することとされたことから、長岡市と共同で計画を策定し、令和元年11月7日付で認定申請を行い、令和2年3月16日付で認定を受け、令和2年度から令和6年度の5年間にわたり、取り組んできました。
- ・なお、令和7年3月21日付で新たな計画の認定を受け、令和7年度から令和11年度の5年間にわたり、取り組んでまいります。

2. 事業評価・改善会議とは

- ・この会議は、中小企業診断士や行政機関、金融機関等の有識者で構成する委員に対して、経営発達支援計画に記載した事業の実施状況や成果を報告し、成果の評価・見直し案の提示をいただくため、毎年度、開催するものです。
- ・評価結果は正副会頭会議に報告するとともに、当所ホームページと会報で公表することとしています。



3. 会議構成メンバー

（順不同・敬称略）

役 職	氏 名	所 属 ・ 役 職
委員長	今井進太郎	中小企業診断士
委 員	相田 収平	（公財）にいがた産業創造機構 テクノプラザ長
委 員	河上 雄一	長岡市商工部産業支援課 課長
委 員	川上 賢一	日本政策金融公庫長岡支店 支店長
委 員	村山 光博	長岡大学 学長

4. 令和6年度「経営発達支援計画」事業の実施状況について

- ・経営発達支援計画では、事業評価は事業の効果を判断するため、数値目標に照らした評価を行うこととしています。

No.	事業項目	事業数／目標達成数	達成率
1	地域の経済動向調査に関すること	2 事業／2 事業	100%
2	経営状況の分析に関すること	3 事業／2 事業	67%
3	事業計画策定支援に関すること	2 事業／0 事業	0%
4	事業計画策定後の実施支援に関すること	1 事業／0 事業	0%
5	需要動向調査に関すること	2 事業／1 事業	50%
6	新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	3 事業／2 事業	67%
7	地域活性化に関すること	3 事業／2 事業	67%
8	支援ノウハウ等の情報交換に関すること	4 事業／2 事業	50%
9	経営指導員等の資質向上に関すること	2 事業／2 事業	100%
	合 計	22 事業／13 事業	59%

5. 委員長・委員のコメント(総括)

【総括コメント】

- これだけの事業のPDCAをしっかりと回していることは委員の皆さんも高く評価している。5年間の取り組みに敬意を表したい。
- 事業所の課題やニーズを引き出すことは重要である。企業訪問により、柔軟に対応していることを評価したい。
- この5年間、小規模企業を取り巻く環境は厳しいと言い続けてきたが、本当に厳しい状況であり、商工会議所が果たす役割、本計画の重要性は増している。各機関との連携を強化し、新たな計画に5年間しっかりと取り組んでほしい。

以 上